

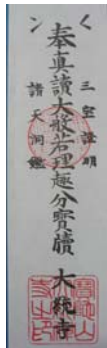
1. 《住職よりの一言》

檀信徒の皆様の御支援御協力により、ひとの集まり易い寺になってまいりました。寺は亡くなってから来られる所ではなく、生きている時から皆さんが支えあい力づけ合う場所であると思っております。その機会を沢山提供するために寺子屋などの催事を実施しております。仏教・お釈迦様の願いは、様々なこの世の苦しきから解き放たれて力強く皆さんが生きて行かれることでもあります。



住職として、そのために少しでも御役にたちたいと考えて努力していく所存です。何事にも苦難はつきものですが、「刻苦光明必ず盛大なり」（地道に努力するに勝ることはない）であります、必ず道は開けると堅く信じております。本年も、皆様と共に一歩一歩進んで参りたいと存じております。宜しく御協力の程お願い致します。

2. 年頭回礼（年始のご挨拶と御札授与）



本年より、正月の四日から檀信徒の皆様の御家に御伺いすることに致しました。白河近郊の御宅以外の皆様には御伺いすることが難しく、御便りと共に郵送させて戴きますので宜しくご寛容のほどお願い致します。この御札は正月に本堂にてお供えして、皆様方の家内安全と来福を祈願しお経をあげて薫じたものであります。仏壇等に御祀り戴き大切にして戴きたいと存じます。

本年は、昨年来の大雪に見舞われたために、足元が悪く徒歩と自転車を主に巡回致しましたが、思いのほか時間がかかり予定しておりました4日、5日の2日間では回りきれず、ご心配をおかけ致しました。来年はスムーズに行くように検討してみたいと思っております。



3. 除夜の鐘

昨年、2回目の「除夜の鐘」を檀信徒・近隣の皆さん・一般の方々に「煩惱を吹き飛ばす」ように打って戴きました。例年になく大雪で大晦日の夕方まで雪が降ったために前回よりも参加者は少なかったものの、檀信徒の皆さんの御協力による甘酒・けんちん汁の無料接待を行い、体を温めながら、災害が多かった年を顧みて、



良い年を迎えることを皆様と祈願しました。昨年同様に檀信徒の川瀬一男様が供養して下さったポーチと今年の干支「酉」に因んだ「鳥の御守り」を記念品として用意して好評でした。御守りは、白河市郭内にある精神障害者支援作業所「なごみの家」の皆さんに前回より制作して戴いております。これ

からも毎年干支に因んだ御守りを制作して戴く予定です。今年からは、有償で皆さんにもお分けすることに致しました。（志納金400円）

4. 福壽地藏尊

本堂脇に御祀りした9体のお地藏さんと本堂に御祀りしてある地藏菩薩さまを福壽地藏尊として、大切に御守りして行きたいと存じます。お墓参りの節には、皆様の災難の身代わりとなり来福を願うお地藏さまに手を合わせて下さいませ。

